

市政ニュース

中国の小学生が修学旅行で来豊

コウノトリが取り持つ縁

7月5日・6日の2日間、中国広東省の広州市広外附設外語学校の小学5年生が、修学旅行で豊岡を訪れました。

児童たちは出石でそば打ち体験を行い、自分たちで作ったそばに舌鼓を打った後、コウノトリ文化館に移動。中貝市長から、コウノトリの野生復帰や環境保全への取組みについて説明を受けました。

公園内を散策した後は、宿泊地の竹野へ移動し、美しい



▲真剣な面持ちで豊岡の取組みを聞く中国の児童たち。

竹野浜で水遊びをしたり、地元の方々との交流を兼ね、日本の武道（空手道、剣道）を見学・体験しました。

今回の修学旅行は、昨年10月に「兵庫県・広東省友好提携25周年記念」事業で広東省の大学生が豊岡を訪れ、コウノトリの保護などの環境保全への取組みに触れたことがきっかけとなって初めて実現したもので、7月9日・10日にも同校の児童が修学旅行で訪れました。

また、児童たちにコウノトリなど、生きものと共生する安全・安心な農業の取組みを知ってもらうため、「コウノトリ育むお米500グラム入パック（たじま農業協同組合から無償提供）」を全員にプレゼントしました。

豊岡の環境への取組みが、広く世界に伝わることを期待します。

兵庫県から特別徴収対策チームの派遣を受け入れました

市の徴税体制を強化!!

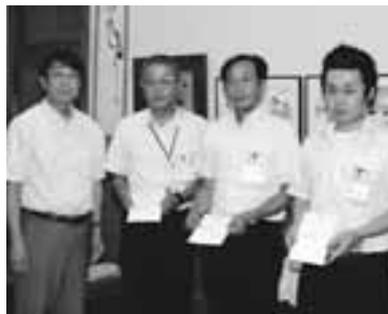
7月3日、市では、兵庫県税務課職員で組織された「個人住民税整理回収チーム」の派遣を但馬で初めて受け入れ、市役所市長室で辞令交付式を行いました。

受け入れたのは6人で、長年税務を担当してきた精鋭ぞろい。9月末までの間に、豊岡と他の2市町を週3〜4日の割合でローテーションを組み、業務に当たります。

このチームは昨年4月に結成し、昨年度は9市町に3カ月間派遣され、取り組んだ案件の7割は方向付けができていたとのこと。

税務行政41年のキャリアを

持つチームリーダーで個人住民税特別対策官の山本好秀さんは「豊岡市の徴税体制は県内でも上位クラス。住民との距離が近過ぎて入りにくい部分の手助けをしたい」と意気込みを話しました。



▲市長から辞令を受けた特別徴収対策チームのメンバー

防災行政無線が但東地域で開局

防災・減災体制の新たなスタート

7月1日、防災行政無線が但東地域で開局しました。

但東地域では、今まで有線放送により情報を伝えていましたが、平成16年の台風23号当時、停電により一部放送ができなかった地域があり、防災行政無線の整備が課題になっていました。

この開局により、豊岡市の全地域で防災行政無線の整備が完了したこととなりました。

当日は、午前7時40分から開局記念放送として中貝市長が「防災行政無線が但東で開局した今日を、防災・減災体制の充実に向けた新たなスタートとする」と呼びかけました。

〈主な市政の動き〉

- 〔6月〕
- 16日・市民と市長の座談会（五荘地区公民館）
- 18日・市民と市長の座談会（八条地区公民館）
- 19日・市民と市長の座談会（田鶴野地区公民館）
- 但馬地域政策懇話会
- 24日・環境社会学会セミナー
- 26日・豊岡市感謝状贈呈式
- 28日・寺坂地区交流センター竣工式
- 全国トンボ市民サミット豊岡大会（29日）
- 29日・男女共同参画セミナー
- 〔7月〕
- 1日・但東地域防災行政無線開局
- 竹野浜・切浜・弁天浜海開き
- 2日・全国水害サミット要望活動（東京都）
- 5日・仲田光成・森田子龍展セレモニー
- 7日・コウノトリ・オオサンショウウオキャラクタリー名称発表会
- 8日・円山川上流改修期成同盟会総会
- 10日・気比の浜海開き

寺坂地区交流センターが完成

人と自然に優しい施設を地域コミュニティの活動拠点に!!

寺坂地区交流センター（出石町寺坂）の建築工事が完了し、6月28日、完成式典を行いました。

この交流センターは、県産木材のスギやヒノキなどを積極的に利用し、小径木を組み合わせた特殊な工法により、

林業の振興、地域産材の利用促進をするもので、県の「木の香るまちづくり事業」県民交流広場事業の補助事業を受けて建てた施設です。

全館バリアフリーで木製デッキ、県民交流広場（一部床暖房）、太陽光発電設備などを備え、人と環境に優しい施設となっています。また、この太陽光発電設備は「関西グリーン電力基金」の助成金を受けて整備しています。

当日は、地域住民による太鼓の演奏や寺坂幼稚園・小学校の園児・児童による豊岡市歌の合唱が披露されました。今後、寺坂地区での公民館

活動、交流活動、子育て・防災拠点として利用されます。



▲関係者によるテープカット

ウィットマン中学校国際交流訪問団が来豊

姉妹校の出石中学校生徒と交流深める

アメリカシアトル市のウィットマン中学校国際交流訪問団（生徒16人と引率3人、計19人）が、6月25日から30日までの6日間の日程で豊岡を訪れました。

平成11年に出石中学校とシアトル市ウィットマン中学校との学校間で姉妹校提携を結んで以来、定期的に相互交流を行っており、今回で10回目の来豊となります。

アメリカシアトル市の

訪問団は、出石中学校の生徒と交流を深める予定です。

訪れ、ウィットマン中学校の生徒と交流を深める予定です。



▲市役所前で記念撮影をするウィットマン中学校の皆さんと関係者

中見市長の徒然日記 ⑩

山陰海岸ジオパーク

ジオパーク。聞き慣れない言葉です。「地質公園」と訳されています。ユネスコが支援している地質や地形など、地球の営みを学ぶことができる自然公園のことです。今、鳥取、北但、京丹後の市町で山陰海岸をジオパークとして登録する運動を行っています。

要するに地学かいな、岩石かいな、うえーっ、苦手やな、という方もあるでしょう。でも、これが結構面白いのです。今から約2千5百万年前のこと。アジア大陸の東の端で、激しい地殻運動によって地面がバリバリと引き裂かれ、やがて海水が入り込み、1千万年ほどかけて日本海が広がって日本列島ができました。その、日本列島が大陸からベリベリとはがれたときの（本当にそんな音がしたのか覚えていない人は誰もいないのですが）痕跡が山陰海岸に残っているのだそうです。おまけに、当時、大陸を元氣よく走り回っていたゾウやサイ

の足跡の化石もあるんだとか。玄武洞は美しい柱状節理で有名ですが、実は、「逆転磁場」という地球科学史上の重要な現象が世界で初めて発見された場所です。

玄武洞は今から約160万年前に噴出したマグマが冷えてできました。その過程で、マグマの中にあつた鉄分などが、地球の磁場によって磁化し、当時の南北を記憶したまま玄武岩の中に眠っています。明治時代に京都大学の松山教授がその磁気を測定する

と、なんと、今と逆を向いていたのです。南を向く磁石です。約160万年前の南北が今と逆？地面が動いているな？そう、そのとおり（受け売りですが）。

日高には、神鍋火山群が噴火して溶岩がザザッと流れていった跡が今もくっきり残っています。これなど、たった2万年前のことですが、えらいもんですな。恐るべし、山陰海岸ジオパーク。

石の上にも...1600万年、市の石ツ玄武岩

